28億1300万円(207

サンドラッグ 第3四半期決算

四半期純利益 6・6%增)、 0万円(13

ドラッグ事業利益30

%增

向上を図るとともに、同社

一年3月期第3四半期決算

800万円 (33·4%增)、

万円 (37・7%増) と増収

サンドラッグの2016

増、、

営業利益252億9

期純利益165億1

存店売上高

が伸

長

益率の改善により収益力の

国内事業では、売上総利

800万円

%增)、経常利

(137.2)

きた。またディーエイチシ 向けた営業基盤を構築して 合弁会社を設立し、将来に

益47億710

として、店舗展開している一

億円(50億円増)、営業利

万円

(前期比23・7%増)、一含んでいる。

ー化粧品のタイ国総代理店

1%增)、営

最大規模のサハグループと

海外事業では、タイ国内

化

業利益46億9

で収益

3600万円

に取り組んだ。

(前期比6・

高5173億

促進・店頭管理機能の拡充

ーションによる営業・販売 ーケティングとのコラボレ 化し、子会社インストアマ

提案した。

生産性向上では、

力向

016年3月

あらたの2 | ドブランドの商品開発を強

日系企業様だけでなく、現

地の大型店に対しても営業

決算は、売上 期第3四半期

ジア太平洋トレードセンタ | 多目的スペースで開催され ー実行委員会(大阪市・ア ATCエイジレスセンタ | が5日、大阪市住之江区の | の活発な商談が繰り広げら | おり、同フェアへの関心が T C ビジネスマッチングフェア開 93件の活発な商談を展開 ATCエイジレスセンター れた。 サプライ企業は年々、関

ッチングフェア2016」 介護関連商談会ビジネスマ 主催の「健康・福祉・ 一自社の製品・サービスを提 健康・福祉・介護関連の

供する中小企

業(サプライ 中堅メーカー 業15社、サプ ることを目的 拡大を推進す 業)との取引 を持つ大手・ にデマント企 (デマンド企

宇都宮製作株式会社 計93件(前回

商談のもよう

ドンキホーテHD 第2四半期決算

各利益、 玉 最 西以外の企業参加が増えて一企業とサプライ企業のPR 高まっている。 また会場内ではデマンド

ネストレンドをテーマにし を確かめる人の姿が目立っ た講演会や効果的な企画提 た。16年度の介護福祉ビジ

コーナーを設置、各社の取

扱商品やカタログが展示さ

れ、有意義な一日となった。 睦を図る交流会もおこなわ

J、免税売上高構成比上位

の両社から今フェアに対す して、来年のフェア運営に 良かった点や改善点を精査 るアンケート調査を実施、 プライ企業とデマンド企業

順。全店平均は5・2%。

(同) 47・2%3国際通り

56・6%②道頓堀店 ①道頓堀御堂筋店

(沖縄) 42・2%ーの

れ、実際に手に取って商品 活かす方針 実行委員会では今後、サ

会

案・販促ツール活用相談 企業間の情報交換や親

「内外顧客のリピート化寄与 高益 を 更新

0万円(12·3%増)、販 3844億4500万円 第2四半期決算は、売上高 (13·4%增)、営業利益 1費773億7000万円 -総利益1029億410 (前期比12・3%増)、売 ングスの2016年6月期 ドンキホーテホールディ |8億7300万円(7・6|たインバウンド消費の押し が強くなる状況下でも、購 て最高益を更新した。 |増)で、各利益は同期とし %増)、当期純利益142 上げ効果も加わり、DQ既 買頻度が高い生活必需品消 億3200万円 (3・9% 消費増税以降の節約志向 存店売上高は前期比5・3

・2%増)、経常利益25-リピート率が高くなってき-リテール事業の売上高は、 00万円(9 費が着実に増加した。さら にSNS利用者の認知度と

ャルコスト発生を踏まえた %増と好調に推移した。 新規出店は15店。イニシ

享受できる体制を取った。 セグメント別をみると、

らなるスケールメリットを |上でシェア拡大を進め、さ

インバウンド消費の増加が ンプー、歯ブラシなどの日 ンナップ拡充に加え、シャ が高成長となった。また定 著しく化粧品や医薬品など た。カテゴリー別では日用 ルを超え成長基調となっ 円 (15・5%増) だった。 剤やマスクの人気商品ライ 番系商品から高付加価値洗 雑貨品の売上高が783億 用消耗品は国内消費を中心 ・4%増)。国内ファミリ とインバウンドの両顧客 使し顧客満足度の最大化に 平均単価をみると国内平均 ファッション3・4%3食 9%增)、経常利益415 均の約10倍だった。 品1・4%—の順。免税客 連続の増収増益を目指す。 %増)に上方修正し、 純利益234億円(1・1 億円(3・3%増)、当期 下期は顧客心理に沿った販 00億円(9・7%増) 努めるほか、過去最大規模 売施策を柔軟かつ迅速に行 営業利益410億円(4・ の約6倍。中国客は国内亚 通期予想は、売上高75

にシェア拡大となった。 インバウンド状況をみる一となる新規出店を予定

光客の増加に伴って一般用 ったことに加え、外国人観 後の需要減の影響がなくな 前期の消費税率引き上げ | の高い専売商品である栄養 力した結果、増収増益とな 補助食品などの販売にも注

億 円

|医薬品や健康食品などに対 したことにより、売上高が するインバウンド需要が拡 増加するとともに、利益率一だった。 また茂木薬品商会を連結 は売上高1兆7373億1 増)、営業利益280億6 100万円(38・7%増 300万円(同4・4% 医療用医薬品等卸売事業

常利益53億円(3億円増)、 益52億円(3億円増)、経 一増)とした。 | 当期純利益30億円(4億円

ンターの生産性向上を図る 改善に向けて業務軽装備化 策の寄与により通期予想を の推進を展開した。 上方修正、売上高6550 とともに、間接業務の標準 なお同期の収益性向上施 集約による業務効率の 物流セ | 3月期第3四半期決算は、 ョン卸売事業の2016年 売上高1872億6900 ングスセルフメディケーシ アルフレッサホールディ | 営業利益9億6900万円 アルフレッサHD 売上高23%増1872 S M卸売第3四半期決算 00万円 (66・1%増)を となった。 ト間の内部売上高6億26 なお売上高にはセグメン

円 (13·8%增)、営業利 復により化粧品などを中心 益193億5600万円 上高2789億2000万 (30・5%增)。 消費増税後の反動減の回 応に注力したことで、既存 化や都市部を中心に拡大す が、引き続き食品の販売強

に販売が増加した。同期に |どの季節商材は苦戦した|による光熱費削減で経費削 一回った。経費面では、 店売上高は前期を大きく上 人時 | 店舗解約し活性化を図った 42店舗の改装のほか、5店 舗のスクラップ&ビルドと 舗閉店とフランチャイズ2 減に努めた。 新規出店は34店舗

カップオブラート=〇〇攻入 参与いも町各 7〇〇月

http://www.kokkooblate.co.jp

用雑貨品39・3%②時計・

品別免税売上高上位は①日

台湾12・7%—の順。

48・9%②韓国7・1%

別免税売上高上位は①中

3714億900万円

便利さを追求した新タイプ 包みやすく、





